

信州大学医学部附属病院 消化器外科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2026年4月2日

「右腎摘位を用いた、右上背側領域腫瘍に対する腹腔鏡下肝切除術の有用性の検討」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	6779
研究課題名	右腎摘位を用いた、右上背側領域腫瘍に対する腹腔鏡下肝切除術の有用性の検討
所属(診療科等)	信州大学医学部外科学教室消化器・移植・小児外科学分野
研究責任者(職名)	野竹剛(助教)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2031年2月28日
研究の意義、目的	従来腹腔鏡下肝切除を行うには難易度が高いとされていた肝臓の右上の領域(segment 7 or 8)に位置する病変に対して、手術時の体位を工夫すること(右腎摘位)により、完全に腹腔鏡下肝切除をおこなうことを目的とした研究で、より安全に腹腔鏡下肝切除が行えるようになることを目指します。
対象となる方	2011年1月1日～2025年12月31日までの期間に信州大学医学部附属病院で肝切除術(開腹 or 腹腔鏡下)を行われた患者さん。
利用する診療記録	診断名、年齢、性別、身体所見、腫瘍の位置(肝内における位置: Couinaud分類)、手術時間、出血量、総肝阻血時間、輸血の有無、開腹以降の有無、術後肝不全/胆汁漏の有無・Grade、入院期間、など
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、体位の工夫により(右腎摘位)安全に腹腔鏡下肝切除が行いうるかについて検討を行います。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	野竹剛 (信州大学医学部外科学教室消化器・移植・小児外科学分野 助教) 電話: 0263-37-2654

過去の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報を利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、参加取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。